

令和6年度 浜松市立浜名小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策
別紙（学校便り）のとおり

2 学校関係者評価

2月14日（金）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・ 学校運営の基本方針を理解し、意見がしっかりとと言える協議会であった。特に、あいさつや集団登校、いじめ問題について熟議ができた。
- ・ 浜名小は、ボランティア活動が充実しており今後も継続できるとよい。しかし、安全パトロール隊は地域差、高齢化が進んで毎日参加するのは大変になってきている。地域独自の旗振り場所や安全パトロール隊の人手が足りていない場所を明確にして対応していく必要がある。
- ・ 学校運営協議会について広く知ってもらうために、今年度コミスク便りの掲示場所を増やしたが、情報が一方通行になっていないかを感じる。ボランティア活動の様子を動画配信したり、子供たちが作ったものを掲示したりして見てもらえる工夫をしたい。
- ・ あいさつについて、子供から知らない大人にあいさつをするのは難しいので、地域の大人が先にあいさつをすればよい。あいさつについて保護者にもアンケートをとったり、安全パトロール隊と子供たちが顔見知りになったりするとよい。
- ・ 大雨による集団下校を実施する際、明確な判断基準があるとよい。児童の安全を第一に考えた対応をとってもらいたい。
- ・ 「いじめ」とは、どの程度を指しているのかを前回聞いた。今回、いじめが原因で欠席が続いている子はいないということで安心できた。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 年3回の集団下校において、地域の安全パトロール隊と関係を深めたり、大雨被害を想定した下校を行ったりする。
- ・ 交通安全リーダーと語る会については、自治会長や安全パトロール隊等の地域の様子がわかる方にも声を掛け、話合いが深まるようにする。
- ・ ボランティアの種類によっては人手が足りないところがある。子供たちの活動が継続されるように情報の発信の仕方を工夫する。
- ・ いじめアンケートについては今後も継続し、丁寧に細かく見ていく。小さいことでも子供たちの気持ちに寄り添い対応をしていく。